

第56回特別展

おしごと学芸員

— 集める・調べる・伝える —

2025 11/1 土

2026 2/1 日

Curators at work - collecting, researching, communicating

主な展示の紹介

1 はじめに：学芸員のおしごと

博物館で働く「学芸員」とは、どんな仕事をしているのか。その概要を紹介します。

2 まずは「集めよう」

「標本」とは何か、標本収集の意義とは何か、どのようなものを、どのようにして集めるのかを紹介します。



▲チョウの仲間乾燥標本

3 新しく博物館にきた標本

主に 2022 年以降に当館で収集・寄贈された標本を展示し、その標本の意義と博物館での資料収集活動について紹介します。



▲ニタリクジラの頭骨

4 標本を「守る」

標本を守り、永劫的に活用していくために、どのような管理が行われているかを紹介します。



昆虫や動物の標本を食べてしまうカツオブシムシの幼虫▶

5 標本を「調べる」

標本を活用した様々な研究を紹介し、研究資料としての標本の意義を考えます。



ヤチスギランのさく葉標本▶

6 みんなに「見せる」

博物館の展示はどのように作られるのか、そして展示を作る際に学芸員が注意している点などを紹介します。



▲触察用地形模型

7 博物館をとびだして

野外での観察会や友の会活動、同好の人たちが集まるサークル活動など、市民と共に進む自然史博物館の活動を紹介します。



▲市民科学で調べる大和川水系調査プロジェクトによる魚班の調査風景

8 学芸員が伝えたいこと

標本を未来に残す意味と博物館の存在意義を示し、この展示会のまとめとします。

関連イベント

特別展講演会

国内外の博物館で最先端の活動している研究者をお招きして、博物館活動を多面的に見る講演会を開催します。

会場：大阪市立自然史博物館本館
 講堂時間：13:30~15:30 (開場 13:00) YouTube を使った同時ライブ配信も行います。

11/22 土 『自然史研究に大きく役立つ博物館標本の DNA』
 講師：中濱 直之 氏 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授 / 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)

12/20 土 『世界の博物館で働くということーイギリス・ザンビア・カリブ海の現場から』
 講師：五月女 賢司 氏 (大阪国際大学国際教養学部准教授)

子どもワークショップ

特別展で一番やさしい子ども向け行事。ハカセやスタッフといっしょに展示を楽しみましょう。



同時開催

■ジュニア自由研究・標本ギャラリー

小・中学生、高校生の自由研究の成果を紹介する「ジュニア自由研究・標本ギャラリー」を、自然史博物館ネイチャーホールにおいて同時開催します。

ギャラリートーク

本特別展を担当した学芸員による展示解説を行います。

土曜 + 11/16 日

いずれも 10:00 から 30 分程度

ギャラリートーク 冬休み特別版

本特別展を担当した学芸員による展示解説に加え、普段は見ることのできない学芸員の仕事を少しだけご案内します。

12/24 水 【植物】

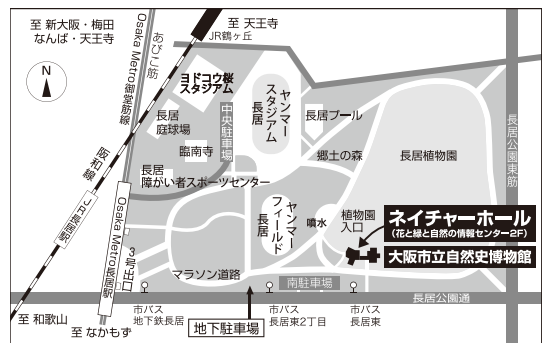
12/25 木 【昆虫】

12/26 金 【動物】

1/6 火 【化石】

1/7 水 【地層】

いずれも 10:00 から 30 分程度



観覧料(税込)	大人	高校生・大学生	中学生以下	※障がい者手帳など持参者(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明)。※30人以上の団体割引あり。※博物館本館(常設展)、長居植物園への入場は別途料金が必要です(セット券を除く)。
当日	500円	300円	無料	
本館(常設展)とのセット券	700円	400円	無料	
期間内フリーパス	1,000円	600円		

【開館時間】 9:30~16:30 (入館は 16:00 まで) [休館日] 月曜日(ただし、月曜日が休館の場合はその翌平日)、年末年始(12月28日~1月5日)

アクセス Osaka Metro 御堂筋線「長居」駅下車 3 号出口・東へ 800m
 JR 阪和線「長居」駅下車 東出口・東へ 1km

Osaka Museum of Natural History
大阪市立自然史博物館

ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 おおさかしぜんし
 TEL:06-6697-6221 FAX:06-6697-6225 https://omnh.jp/tokuten/2025oshigoto